

日本有数の玉露の産地



令和7年第1回定例会には、市長報告3件、同意案2件、令和7年度一般会計予算案を含む議案33件が上程されました。開会日には市長から7年度の施政方針演説があり、2日目には施政方針演説に基づき、各会派から代表質問を行いました。

常任委員会に審査を付託された議案は、総務常任委員会には「京田辺市ふるさと応援基金条例の制定について」など13件について、文教福祉常任委員会には「京田辺市子ども・子育て会議設置条例の一部改正について」など4件と、「京田辺市民が通える公立夜間中学校の創設並びに条件整備を求める請願」などの請願2件、建設経済常任委員会には「枚方京田辺環境施設組合の共同処理する事務及び同組合規約の変更について」など3件、それぞれの委員会では審査が行われました。

また、13件の予算案を審査する予算特別委員会（田原延行委員長、向川弘副委員長）が設置され、4日間にわたる審査の結果、付託された13件は全て可決すべきものとして答申されました。

3月28日の閉会日には、議員発議案1件、意見書案1件が上程されました。

※採決結果は最終ページに掲載しています。

02-03

代表質問



市長の考えに対する議論の結果は？

04-05

常任委員会



専門的に話し合われた内容は？

06-08

一般質問



議員って普段どんなことを考えてるの？

09-11

予算特別委員会



予算の質疑内容は？



上村市長の施政方針演説



私の市長2期目のまちづくりも早くも折り返しを迎えます。私の政策理念「みんなが住み続けたいと思えるまち」を実現させるため、第4次総合計画「中期まちづくりプラン」の3つの重点プロジェクトである「次の世代を育てることもまんなかのまちづくり」「つながりと安心のまちづくり」「持続可能で魅力ある都市づくり」を中心に、施策事業の展開を加速させるほか、「情報発信と効率的な行政運営」についても、着実に推進します。

また、次期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」により、「子ども・子育ての希望をかなえるまちづくり」など、4つを基本目標とし、地方創生の充実強化に向けた取り組みを進めます。

5つの基本方針に基づき予算を編成

令和7年度当初予算については、将来にわたり本市の持続可能な発展を実現するため、次の5つの基本方針に基づき予算を編成しました。

- ① 本市の目指す都市像「緑豊かで健康な文化田園都市」の実現に向け、第4次総合計画に掲げる事業を進めます。
- ② 「こどもまんなか社会」の実現

に向けて、一体的で切れ目のない子育て環境の整備や教育環境の向上など、次代を担う者への支援を推進します。

③ 誰もが安全・安心に日常生活を送ることができるよう、有事に備えたソフト・ハード両面での防災・減災対策の推進を加速します。

④ デジタル技術を活用し、市民サービスの向上と、業務改革の推進による行政事務の効率化を一体的に進めます。

⑤ 国・府と連携した財源確保や企業誘致による歳入確保、民間活力の導入や公共施設マネジメントの推進による歳出の削減などを進めます。

また、施策推進の原動力となる「人」が重要であるため、市役所では働き方改革を進め、まちを理解し、豊富な知識と情報を持つとともに、情熱と柔軟な行動力でどのような課題にも対応できる職員を育成します。

「明るい京田辺」に向けて

地域における人材育成と交流ネットワークの強化を図り、市役所と市民がアイデアを出し合い、一緒に進める活動できる活力あるまちを築きます。そして、こどもたちの笑顔から、市民みんなが元気をもらい、幸せで充実した暮らしができる「明るい京田辺」を実現するため、職員と一丸となって全力で取り組みます。

全文は市ホームページに掲載しています

市長の施政方針演説に対する代表質問

代表質問とは、市長の施政方針演説に対して行う質問で、市長の施策等に対する活発な質問が展開されました。

自民一新会 橋本善之議員

まちづくりと危機管理について



【問】令和7年度予算編成にあたり「第4次総合計画中期まちづくりプラン」の2年目として、未来に向け更なる飛躍の重要な年と表明されている。これまでの実績と計画期間の13年度までを見通した取り組みについて問う。

【市長】平成31年4月に就任後、翌年には第4次京田辺市総合計画に基づく新たなまちづくりをスタートさせた。この間、コロナ禍を経験し人々との絆の重要性を再認識する中で、市民協働のもとで、たなフェス開催を始めミライ口開設など、まちへの愛着や誇りといったアイデンティティを育めるよう取り組んできた。市の人口は令和12年にはピークを迎え、その後減少局面に入る中、人材や税収など

公明党 向川弘議員

物価上昇に対し市民への支援を



【問】米や食料品等の物価が上昇している。市民への生活支援の具体的施策を問う。

【市長】物価高騰による給食費の保護者負担軽減と商工業者や農業者への経済対策を講じる。国の取り組みを見定めながら、市としても取り組みを機動的に行いたい。

【問】中小企業、農家等への施策を聞いたが、それだけでは行き届かない市民にも届く支援が無いのかを問う。

【市長】キャッシュレスポイント還元事業は前回5回実施。これまでの取り組みや状況も踏まえながら考えたい。

【問】公共施設のウォーターサーバー設置台数を問う。

【答】現時点では、七つの公共施設に設置する。

【問】带状疱疹ワクチン予防接種開始時期と対象者を問う。

【答】令和7年4月から実施。年度内に65歳を迎える方。令和7年度から5年間の経過措置として70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳となる方も対象。広報誌4月号に掲載し、5月に個別通知を送付する。

【問】松井ヶ丘留守家庭児童会の時間延長や長期休暇中の宅配弁当の内容を問う。

【答】業者独自の有料サービスで午前7時30分から午後7時までの30分ずつ延長。弁当は令和7年度の夏休みから長期休業期間に実施。保護者がオンラインで申し込む。

【問】小・中学校体育館の空調設備工事スケジュールは。

【答】室内機の設置は秋から冬の約3カ月を想定している。

【問】行政改革実行計画の受益者負担や補助金削減等は、物価高騰が続いている中で計画の見直しをすべき。市の考えを問う。

【答】持続可能な財政運営を行うには、事業のスクラップ&ビルドの徹底による歳出の削減、受益者負担の適正化など歳入確保に取り組む。

代表質問の様子は、録画配信で視聴することができます。

インターネットで「京田辺市 議会中継」と検索してみてください。
また、スマートフォンでも視聴できる他、次の二次元コードからも視聴できます。



日本維新・南部 有田幸平議員



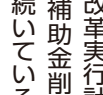
人と人との繋がる市政運営を

【問】コロナ禍での市政運営に対する評価、課題、政策について今後この教訓を生かせる体制が整っているのか、またまちづくりへの市民ニーズが多様化する一方、社会的に孤独・孤立の問題が深刻化している中、どのようにして市民の声の把握、市と市民との双方向の情報交流ができる仕組みを考えているのか。

【市長】感染症対策の情報を

日本共産党 増富理津子議員

緊急の中小企業・生活支援を



【問】被爆80年、非核平和都市宣言を掲げる市長として、被爆者の願いでもある核兵器禁止条約の批准を政府に求めるべき。市長の認識は。

【市長】平和首長会議で、25年1月17日に石破首相に一刻も早く核兵器禁止条約の締約国となるように、第3回会議への参加も要請した。政府がオブザーバー参加も見送ったのは残念である。

【問】国のエネルギー基本計画や地球温暖化対策計画について、「ゼロカーボンシティ」宣言の自治体として、原発や化石燃料に頼るのではなく、具体的な削減施策に向けたイニシアチブを発揮すべき。市長の認識を問う。

【副市長】エネルギー基本計画にかかわらずゼロカーボン

【問】学校の活動の地域移行推進協議会において、指導者への支援を含めた課題を整理しながら取り組んでいく。

【問】令和6年度の専門職の採用試験において試験日程の前倒しや年齢要件の緩和、面接を行うなどにより一定の合格者数を確保できた。今後もある職種にも広げるとともに新たな取り組みを行う予定。

【問】部活動の地域移行推進地域クラブ活動に対する支援について問う。

【答】学校部活動の地域移行推進協議会において、指導者への支援を含めた課題を整理しながら取り組んでいく。

文教福祉常任委員会

付託議案

議案 第 9 号・第 10 号
第 11 号・第 12 号
請願 第 1 号・第 2 号

主な質疑内容

●議案第 9 号 京田辺市子ども・子育て会議設置条例の一部改正について

京田辺市こども計画の策定に伴い、子ども・子育て会議の設置に係る根拠規定及び所掌事項の整理を行うとともに、委員の人数の見直しを行うため、提案するもの

問 委員の人数を増やす理由や市民公募の基準について。

答 若者の参画を考えてのものであり、公募基準に年齢制限の上限を入れることは有効と考えられる。

●議案第 10 号 京田辺市子ども・子育て支援法に基づく過料に関する条例の一部改正について

子ども・子育て支援法が改正され、妊婦のための支援給付が創設されることに伴い、所要の改正を行うため、提案するもの

問 過去に過料を科した事例の有無について。また、過料を条例に規定する理由について。

答 過料を科した事例はない。条例に規定することによる抑止効果もある。

●請願第 1 号 京田辺市民が通える公立夜間中学校の創設並びに条件整備を求める請願

質疑の中で市は、府教育委員会へ協議会の設置を働きかけている。府として広域的な対応が必要であり、そのうえで、どこに設置することが良いか、などが考えられていくものとの答弁。

●請願第 2 号 京田辺市の学校給食の無償化を求める請願

小学校は令和 8 年度から、中学も早ければ令和 9 年中にも無償化されるとの報道もあるなかで、給食無償化ではなく別の負担軽減を検討する必要があるのではとの質疑に対し、給食費無償化の制度設計の準備を進め、市の負担が明らかになれば、他の負担も含めて対応を検討していくとの答弁。

委員会での審査結果

議案第 10 号は賛成多数で、その他の議案は賛成全員で可決すべきものと決定
請願第 1 号及び第 2 号はどちらも賛成少数で不採択とすべきものと決定

●所管事務調査

「特別支援教育について」の調査報告書は京田辺市議会ホームページに掲載しています。



建設経済常任委員会

付託議案

議案 第 17 号・第 18 号
第 33 号

主な質疑内容

●議案第 17 号 枚方京田辺環境施設組合の共同処理する事務及び同組合規約の変更について

枚方京田辺環境施設組合の共同処理する事務及び同組合規約を変更することに関し、枚方市と協議したいので提案するもの

問 両市で運営費用を負担する同組合が運営する新焼却場と、枚方市が全額費用を負担する東部清掃工場について、どのように費用を区分するのか。

答 現在そのことについて協議を行っており、秋の試運転までには協議を終えたい。

●議案第 18 号 京田辺市道路線の認定について

宅地開発によって新設された道路について、道路法の規定に基づき路線の認定を行うため、提案するもの

問 行き止まり道路が生じる開発行為に対する開発指導はされているのか。

答 市として指導はしているが、開発基準に合致し、許可されている。

委員会での審査結果

議案第 17 号・第 18 号は賛成多数で、議案第 33 号は賛成全員で可決すべきものと決定



常任委員会の審議内容

定例会

常任委員会は定例会において付託された議案等を審議・審査します。

本市議会には、総務常任委員会・文教福祉常任委員会・建設経済常任委員会があります。

LIVE 会議の様子を中継しています

京田辺市議会では会議の様子をインターネットで中継しています！録画配信も行っています。

京田辺市 議会中継



その**主な内容**について、お知らせします。

※各委員長から提出された要約原稿を掲載しています。

スマートフォンでも視聴できますよ！



総務常任委員会

付託議案

議案 第 1 号～第 8 号
第 13 号～第 16 号
第 19 号

主な質疑内容

●議案第 1 号 京田辺市ふるさと応援基金条例の制定について

本市を応援する方々からの寄附金を受けるための基金を設置し、魅力あるまちづくりに資する事業及び地域再生法に規定するまち・ひと・しごと創生寄附活用事業を実施することを目的として条例を制定するため、提案するもの

問 ふるさと納税の実績と、充当先の考え方は。

答 令和 6 年度は約 4 億円の寄付があった。寄付者の意向があるものは当該事業へ充当する。その他については重点事業等へ活用し、年度をまたがった活用も考えている。

●議案第 4 号 京田辺市職員の旅費に関する条例の全部改正について

国家公務員等における旅費制度の見直しに伴い、本市職員等についても経済社会情勢の変化に対応するとともに事務負担を軽減するにあたり、所要の改正を行うため、提案するもの

問 旅費規程改正の考え方、改正に伴う市の財政負担見込は。

答 国の制度設計に準じた形で制定した。財政負担は年間約 30 万円と見込んでいる。

●議案第 16 号 京田辺市野外活動施設設置条例の廃止について

京田辺市野外活動センターの運営見直しに伴い、令和 7 年 4 月から当施設を普通財産として、民間事業者に貸し付けるため、本条例の廃止を提案するもの

問 野外活動センターの廃止に伴い、令和 7 年 4 月 1 日より民間貸し付けとなるが、職員等の雇用や、自然との関わりを育む取り組みの考え方は。

答 現行の会計任用職員や実施している事業などについて、引き継いでいこう事業者と協議を進めている。

委員会での審査結果

議案第 13 号及び第 16 号は賛成多数で、その他の議案は賛成全員で可決すべきものと決定



市議会議員の一般質問をしてみよう



市議会議員が市に対して、将来の方針、政策の内容や執行の状況などを直接質問する物です。

行政に関することほか、地域の生活に密着していることなど多岐にわたる質問がされています。

※議員から提出された要約原稿を掲載していますので、詳細については各議員にお問い合わせください。緑線の用語の解説は8ページに記載しています。

3月定例会・一般質問

長田 和也 議員 NEX-T 京田辺

町内会アプリ導入について



【問】全国的に区・自治会業務の効率化や地域コミュニティ活性化に活用できる、町内会アプリ導入の動きが広がっている。本市でも既に導入されている区・自治会があるが、市としての評価は。

【市長】アプリについては、情報発信等のツールとして活用されていると認識している。今後、導入された区・自治会へのヒアリングなどを通じ、業務の負担軽減や加入率向上の検証も行いながら、評価をしていきたい。

【問】既に幾つかの区・自治会が自治会アプリを導入しており、導入コストやランニングコストが負担となっている。市が運営事業者と協定やパートナーシップを結ぶなどでコストダウンし、導入を促進するべきでは。

南部 登志子 議員 日本維新・南部
盲聾者の支援体制と通訳体制は



【問】障がい者が安心して暮らせるまちづくり①市内には視覚と聴覚の両方に障がいがあり盲聾、かつ身体障害者手帳保持者が7名おられる。支援体制と通訳体制は。②視覚障がい者のためのガイドヘルパー養成と利用者への支援を。③社会福祉協議会が運営され

【問】自治会アプリは地域コミュニティの活性化でも非常に役立つもので、効率化の面でも大変有効であると考えている。ランニングコストについては、今後、市として事業者との協定締結に向け検討を進めていきたい。

【問】自治会アプリを導入する際、人材も重要になり、そういった土壌も各区・自治会で培っていかねばならない。人材を育成する観点から、市や事業者による講習会や運用サポート、デジタル化推進の支援を行っていくべきではないか。

【問】区・自治会の要望・意見を聞きながら、講習会等については、今後検討していきたい。

【問】府の事業として実施されているが、本市に対象者がいない。

はない。残存機能に並び、視覚障がい者には同行援護、聴覚障がい者には手話通訳者派遣や要約筆記者派遣を行っている。②養成は府が実施。利用者には音声ガイドや視覚障害者協会を通じて周知。新規手帳取得者には取得時に案内。③運転手の確保が難しい。移動の全体的な支援について考えていく必要がある。

【問】近鉄新田辺駅東側。独自に開発される業者との協議は進んでいるのか。

【問】駅前広場機能も含めた再整備を目指し、主要地権者との協議を行なっていきたい。

【問】元さんさん山城の虐待認定は誤り、と未だに多くの市民が不審に思っている。何が虐待とされたのか明らかにされないことで、介護従事者は日々萎縮しながら業務遂行している。虐待認定の取り消し、もしくは再調査を求める。

【問】考えていない。

河田 美穂 議員 公明党
詐欺などから市民を守る施策を



【問】市民が悪質な詐欺などのトラブルに巻き込まれないよう、未然防止の施策を。

【問】シニアカーの安全対策として、歩道の整備をすべき。

古高 裕佳子 議員 無会派

市民の健康と食を守る施策とは



【問】第2期京田辺市健康増進計画・食育推進計画について。①こころの健康のため、多様な居場所の充実を求める。②喫煙防止対策とは。③地産地消と食の体験・食文化に関する実績は。④食育推進の取り組みを拡充すべきでは。

【問】①市民同士が繋がる取り組みへの支援を充実させる必要がある。②学校や保健所と連携し、中学生に向けた喫煙防止教育等を実施している。③学校給食で、令和6年度から京田辺市産の特別栽培米ヒノヒカリを使用。④食生活改善推進委員が市民の健康づくりの担い手として活躍されているが、減少傾向のため、7年度に養成を考えている。

【問】7年度から京田辺市立幼稚園全園でお弁当給食が実現するが、その内容は。【問】本市には、防災行政無線、ホームページ、SNS、広報車、レアラート、防災情報メール等があるため、開設することは考えていないが、市内にコミュニティ放送局が開設された際には、災害時の情報発信手段として、その活用について検討する。

【問】継続した意見では、農業委員会始めJAや京都府などと連携して取り組んでいる。新規の意見では、どのような取り組みが出来るか検討していく。②小規模農業者は大変重要と考えておりできる限り支援していく。③現状の人員体制でも、連携、協力を強める中で対応している。

岡本 亮一 議員 日本共産党
みんなでつくる住民自治のまち



【問】核兵器廃絶に向けて、世界の平和を訴えるのであれば、いま国が進めている「抑止力」という対立や分断ではなく、地域全体を包括する対話と協力の関係をつくるべき。

【市長】東アジアの緊張を緩和することが大変重要である。そのための対話の継続というのは非常に重要であり、必要であると認識をしている。また、政府においては、対話について引き続き主導的な役割を国際社会で担っていくことを期待したい。

青木 綱次郎 議員 日本共産党
枚方東部清掃工場費用について



【問】枚方京田辺環境施設組合は、25年度から両市で発生する可燃ごみを処理する新しいごみ焼却場を管理運営するが、合わせて、枚方東部清掃工場も管理運営するとされている。しかし枚方東部清掃工場で処理する可燃ごみはすべて枚方市で発生したものであり、それに要する費用はすべて枚方市が負担すべきである。そのことを徹底するために、

枚方京田辺環境施設組合において25年度から枚方東部清掃工場の管理運営に要する費用を、一般会計から分離して特別会計方式にして、その財政負担はすべて枚方市とすべきである。

【問】枚方東部清掃工場に係る経費は16年に枚方市と締結した基本協定において枚方市の負担としている。それに基づいて枚方東部清掃工場の分

【問】国は祝園分屯地での弾薬庫8棟を新設するとしていたが、25年度予算案では、新たに6棟を追加するとした。防衛省の文書では、「自衛隊の十分な継戦能力の確保と維持を図る必要があることから、

次田 典子 議員 無会派
大深度工法の安全保障できるか



【問】東京調布の外環道陥没現場では、小川が流れる閑静な住宅街が歯が抜けたように破壊され孤独死した人も出ている。また大深度工法で住民の中には耳鳴りがしたり体調が悪くなった人もいる。市長はこれを見ても新幹線松井山手地下駅周辺での静かな暮らしを保障できるのか。

【市長】大深度地下が100%安全だとは言っていない。

国重 昂平 議員 自民一新会
大住中学校の自転車通学の実施



【問】市内の3中学校の中で大住中学校のみが自転車通学が認められていないが、近年の夏の炎天下での通学には生徒の健康面での懸念がある。遠距離通学の生徒に関して自転車通学を大住中学校でも認めるべきと考えるが市の認識は。

【市長】田辺北の新市街地については、11年度末の事業完了に向け間もなく着手。複合型施設については13年度をめぐりに取り組みたい。

【問】全国的に高齢化や担い手不足により放置竹林などが増え、森林保全に対する支援が必要と考えるが市の認識は。

【市長】いつでも誰でも日常的に文化に触れ合う事ができる広場のような新しい文化空間を整備したい。



陥没事故で住めなくなった住宅

令和 7 年度の予算審査

予算特別委員会の開会



予算特別委員会（田原延行委員長、向川弘副委員長、有田幸平、岡本亮一、片岡勉、菊川和滋、国重昂平、南部登志子の計8名）は、3月12日、13日、17日、21日の4日間にかけて委員会を開催し、付託された令和7年度一般会計予算案を含め13件の予算案について審査を行いました。最終日には、会派による総括審査を行った後採決が行われ、予算案を全て認定、可決すべきものと決しました。審査を踏まえた会派別の意見は10、11ページに掲載しています。主な審査内容は下欄に記載しています。また、二次元コードから動画で会議の様子を見ることができます。

部局別審査

※委員長から提出された主な審査内容を掲載しています。

予算特別委員会では、専門的な内容を分野別に審査します。

総務分野では、市の財政状況や企画、職員、市民参画、消防、防災や監査などに関すること、**文教福祉分野**では、学校や保育所・幼稚園、社会教育、福祉などに関すること、**建設経済分野**では、都市計画や産業の振興、農業、上下水道などに関することを集中的に審査しています。

総務分野

避難所の環境改善、また防災備蓄品の内容、配備先は。

自動ラップ式トイレや蓄電池などの備品や段ボールベッドなど。現在、備蓄品は基本的には三山木の防災倉庫と各避難所に保管している。今後増えてきた備蓄品を整理しながら配備する。

ふるさと納税のさらなる納税促進策は、また他市への流出額や事務経費は。

新たな返礼品の開拓やシテプロモーションによりPRする。令和5年の流出額は約3億円、事務の経費は納税額の1/2以内となる。



文教福祉分野

小・中学校体育館の空調工事における有事の際のリスクヘッジとしての動力源は。

防災の観点で田辺東小と三山木小の2校にLPガス動力の空調を導入予定。

業務委託の松井ヶ丘留守家庭児童会の評価と運用状況の確認方法は。

業者独自のプログラムで開所時間の延長等を評価し、運用状況は月次の報告会で確認する。



建設経済分野

路線バスの現状とそれに対応する事業者支援の内容は。

コロナ禍後の利用率は以前の9割程度で、厳しい経営状況が続くなか、本市は路線維持のため負担金を支出するとともに、利用促進策として路線バス無料の日を実施している。

甘南備山展望施設等新設工事の完成後のPR方法やアクセス道路の整備状況は。

HPやSNS、広報誌だけでなく、平安京との関わりなど文化・歴史分野や、学校等の学習利用も進めていきたい。アクセス道路は令和8年から10年度にかけて整備を進める。



市長は市民の安全第一を考えるべき。調布や岐阜で大深度工法の問題が出ている。止める勇気も持つべきだ。作るとしても米原ルートの方が距離、予算両面で抑えられている。

市長 国、機構にも懸念を伝え判断は国がするべきだ。

市長 国、機構にも懸念を伝え判断は国がするべきだ。

早川由紀夫議員 日本維新・南部 まちをきれいにする取り組みを



「まちをきれいにする取り組み」を全ガラスの導入、空調設備の使用管理の徹底を検討する。

「まちをきれいにする取り組み」を全ガラスの導入、空調設備の使用管理の徹底を検討する。

「まちをきれいにする取り組み」を全ガラスの導入、空調設備の使用管理の徹底を検討する。

「まちをきれいにする取り組み」を全ガラスの導入、空調設備の使用管理の徹底を検討する。

「まちをきれいにする取り組み」を全ガラスの導入、空調設備の使用管理の徹底を検討する。

「まちをきれいにする取り組み」を全ガラスの導入、空調設備の使用管理の徹底を検討する。

田原延行議員 自民一新会 住み続けたいと思えるまち



令和7年1月25日（土）、京田辺市立北部住民センター多目的ホールにて、第7回京田辺市議会議会報告会を開催いたしました。当日は23名の方にご参加いただきました。第1部では河本隆志議長の挨拶からはじまり、議会報告会の経緯などについての報告が行われ、第2部の意見交換会では、各テーブルに分かれて議員との意見交換が行われました。

8

用語の解説

「まちをきれいにする取り組み」を全ガラスの導入、空調設備の使用管理の徹底を検討する。

「まちをきれいにする取り組み」を全ガラスの導入、空調設備の使用管理の徹底を検討する。

「まちをきれいにする取り組み」を全ガラスの導入、空調設備の使用管理の徹底を検討する。

「まちをきれいにする取り組み」を全ガラスの導入、空調設備の使用管理の徹底を検討する。



9

総括審査 会派からの意見

日本維新の会・無所属南部の会

職員確保・市民との対話を

Check!

近年の物価や人件費の高騰、労働人口の減少といった厳しい状況の中において、今予算には様々な新規事業があり、市民に対する行政サービスの更なる向上を目指した予算編成が伺える。その上で重要となる職員の人材確保や育成、キャリアアップ事業の推進拡充をすべき。

何でも無料の子育て支援ではなく、芸術や美術、音楽鑑賞など教養を高めるための支援を。農業を守る・育成する。そのためには市民の意識向上も必要。

イノシシ被害に悩む普賢寺地域や、買い物に困っている新田辺駅東側などの住民は、取り残されていると感じている。職員は積極的に地域に出て行き、市民と対話を。



本市では、予算案に係る委員会審査について、予算特別委員会の最終日に予算全体の総括的な審査及び採決を行っています。

令和7年度一般会計予算などについて、5つの会派から多岐にわたる質疑が行われました。

以下、各会派から提出された意見を掲載しています。

日本共産党京田辺市議会議員団

物価高から暮らしを守る市政を

Check!

物価の高騰により、市民の暮らしはかつてない深刻な事態となっている。

また、エネルギーや原材料費の高騰が長期に及ぶ中、中小企業の経営はコロナ禍以上に厳しくなっている。

いまこそ国保税や水道料金の引下げ、中小企業への直接支援が求められる。

一方、市の財政が厳しいとしながら、財政負担が不透明な北陸新幹線延伸計画を推進している。

巨額の資金を要し、大きな環境負荷をかける北陸新幹線延伸よりも、老朽化した既存インフラの整備や、市民にとって最も身近な公共バス、在来線の充実など、生活に密着した暮らし最優先の市政を求める。

自民一新会

職員一丸となったまちづくりを

Check!

本年は、「第4次総合計画中期まちづくりプラン」の2年目として成長都市京田辺を盤石なものとするために、すべての市民が住んでよかったと思える施策の展開が重要な年である。

今般の当初予算には、田辺北新市街地整備事業などの本市発展にとって必要な継続の大型事業に加え、小中学校体育館等への空調設備導入や現在の物価高騰に対する支援などの会派の方針に沿った数多くの事業により過去最高額の予算規模を計上されており高く評価している。

市長におかれては職員一丸となって、組織力をより一層強化し、迅速かつ適切な予算執行が行われるよう強く要望する。

公明党

物価高騰に対し全市民へ支援を

Check!

厳しい財政の中、小・中学校体育館等空調設置、田辺北新市街地整備、マイボトル普及啓発や防災・減災に係るハード・ソフト両面での充実をはじめ、带状疱疹予防接種事業、5歳児健診などの公明党が要望した事業が盛り込まれた予算編成を評価する。

その上で、物価高騰に直面している全ての市民に行きわたる支援をすべき。国の補正予算の交付があった場合に、すぐに実行できるよう今から検討せよ。

また、留守家庭児童会の待機解消に加え、進学・就職・奨学金返還支援・若者・居住・結婚支援の充実、避難所の環境改善・避難訓練の充実および、観光と環境施策を拡充すべき。

NEXT京田辺

市民参加のまちづくりへ

Check!

令和7年度予算は、継続事業を着実に推進し、子育て・学校教育・福祉・防災分野を中心とした新規事業を積極的に展開する意欲的な予算編成である。

予算配分は、市民生活を支える事業と、未来に向けた事業をバランスよく両立させており、高く評価する。

今後は、特に福祉や防災分野で市民との協働や市民参画がさらに重要になる。区・自治会の活性化を図り、市との連携をさらに強化することも求められる。地域に対してこれまで以上に踏み込んだ支援を行い、引き続き安心安全で、市民が住み続けたいと思える魅力的なまちを実現すべく、市民と一体となったまちづくりの推進に期待する。

審議の結果を報告します



議案番号等		件名	採決状況	議決結果
同意	1	京田辺市自治功労者の推薦	全員賛成	同意
	2	京田辺市自治功労者の推薦	全員賛成	同意
議案	1	京田辺市ふるさと応援基金条例の制定	全員賛成	可決
	2	情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るためのデジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	全員賛成	可決
	3	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	全員賛成	可決
	4	京田辺市職員の旅費に関する条例の全部改正	全員賛成	可決
	5	京田辺市職員定数条例の一部改正	全員賛成	可決
	6	京田辺市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	全員賛成	可決
	7	京田辺市選挙長等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	全員賛成	可決
	8	京田辺市文化施設整備基金条例の一部改正	全員賛成	可決
	9	京田辺市子ども・子育て会議設置条例の一部改正	全員賛成	可決
	10	京田辺市子ども・子育て支援法に基づく過料に関する条例の一部改正	賛成多数	可決
	11	京田辺市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	全員賛成	可決
	12	京田辺市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	全員賛成	可決
	13	京田辺市福祉医療費の支給に関する条例の一部改正	賛成多数	可決
	14	京田辺市消防団員等公務災害補償条例の一部改正	全員賛成	可決
	15	京田辺市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正	全員賛成	可決
	16	京田辺市野外活動施設設置条例の廃止	賛成多数	可決
	17	枚方京田辺環境施設組合の共同処理する事務及び同組合規約の変更	賛成多数	可決
	18	京田辺市道路線の認定	賛成多数	可決
	19	京田辺市松井財産区財産の処分	全員賛成	可決
	20	令和6年度京田辺市一般会計補正予算（第7号）	全員賛成	可決
	21	令和6年度京田辺市松井財産区特別会計補正予算（第1号）	全員賛成	可決
	22	令和6年度京田辺市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	全員賛成	可決
	23	令和6年度京田辺市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	賛成多数	可決
	24	令和7年度京田辺市一般会計予算	賛成多数	可決
	25	令和7年度京田辺市休日応急診療所特別会計予算	全員賛成	可決
	26	令和7年度京田辺市松井財産区特別会計予算	全員賛成	可決
	27	令和7年度京田辺市国民健康保険特別会計予算	賛成多数	可決
	28	令和7年度京田辺市介護保険特別会計予算	賛成多数	可決
	29	令和7年度京田辺市後期高齢者医療特別会計予算	賛成多数	可決
	30	令和7年度京田辺市水道事業会計予算	賛成多数	可決
	31	令和7年度京田辺市公共下水道事業会計予算	賛成多数	可決
	32	令和7年度京田辺市農業集落排水事業会計予算	全員賛成	可決
	33	京田辺市水道事業に係る布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部を改正する条例の一部改正	全員賛成	可決
請願	1	京田辺市民が通える公立夜間中学校の創設並びに条件整備を求める請願	賛成少数	不採択
	2	京田辺市の学校給食の無償化を求める請願	賛成少数	不採択
発議	1	京田辺市議会の個人情報保護に関する条例の一部改正	全員賛成	可決
意見書案	1	高額療養費自己負担上限額引上げ計画の撤回を求める意見書	賛成少数	否決

賛否が分かれた議案のうち、個々の賛否について掲載。（賛成：○、反対：×、欠席：一、退席：□、除斥：△）
採決に参加しなかった場合“▼”で表しています。
※河本隆志議員は議長職のため、表決権はありません。

議案番号等	議決結果	自民一新会					NEXT 京田辺				日本維新の会・無所属南部の会				日本共産党京田辺市議会議員団			公明党		無会派	
		榎本 昂輔	国重 昂平	久保 典彦	田原 延行	橋本 善之	片岡 勉	河本 隆志	菊川 和滋	長田 和也	有田 幸平	上田 毅	南部 登志子	早川 由紀夫	青木 綱次郎	岡本 亮一	増富 理津子	河田 美穂	向川 弘	次田 典子	吉高 裕佳子
議 10	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○
議 13	可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○
議 16	可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○
議 17	可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	○	×	×	×	○	○	×	×
議 18	可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○
議 23	可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○
議 24	可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	○	×	×	×	○	○	×	○
議 27	可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○
議 28	可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○
議 29	可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○
議 30	可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○
議 31	可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○
請 1	不採択	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○
請 2	不採択	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	○	×
意 1	否決	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	○	×	○	○	○	×	×	○	○

来期の予定：□臨時会開会閉会共：5月12日
■定例会開会：6月6日 ■一般質問：6月16、17、18日 ■定例会閉会：7月4日
■常任委員会（総務：6月23日、文教福祉：6月24日、建設経済：6月20日）
■議会運営委員会：5月30日、6月4、30日、7月2日 日程は変更になる場合があります。